



カエンタケに関する注意喚起

富士山麓には広葉樹林が広がっており、森の分解者であるきのこも多種多様です。きのこには毒を持つものも多く、むやみに採取して口にしないよう注意が必要です。きのこの中でも特に危険性が高い種類で、皮膚に触れるだけでも炎症を引き起こすカエンタケの発生も確認されています。

カエンタケは、ブナやコナラをはじめとしたナラ類の倒木・切り株・枯死木等の近くに発生し、口にした場合は命の危険があります。

外見上の特徴としては、「表面の色がオレンジ色から赤色で、中は白色。細長い円柱状または棒状で、土から手の指が出ているように群生または単生する。」とあります。(厚生労働省HPを参照)



ミズナラの根元に生えたカエンタケ
「まなびの森」沢田氏提供

もし見つけてしまった場合は、絶対に皮膚が触れないように注意し、土地所有者や施設管理者がわかれば連絡し、除去・処分を依頼してください。

除去作業は、厚手のビニール手袋等で皮膚を保護して行い、焼却処分します。除去した箇所をバーナー等で焼くと、再発生しにくくなりますが、それでも発生してしまった場合は作業の繰り返しとなります。

ナラ類の木は山奥だけではなく、里山や公園等にもありますので、カエンタケも身近な危険となり得るものです。ふじさんネットワーク会員以外の方にも情報提供していただき、被害が発生しないよう注意していただきたいと思います。



注意喚起の表示「まなびの森」沢田氏提供

NEWS × COLUMN



富士宮口五合目 レストハウス等について

富士宮口五合目レストハウスは、令和3年3月に火災に見舞われ、その後の調査の結果使用が不可能な状態と判断されました。周辺はバリケードで封鎖されてお



令和3年夏にバス駐車場に設置された施設の様子

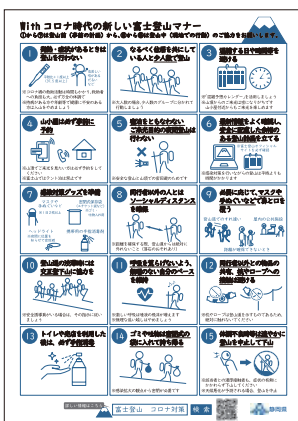
り、取り壊しが進んでいます。富士宮口五合目にどのような施設が建設されるかは、今後の検討が待たれます。

令和3年度の開山期間中は、従来のバス駐車場に仮設のコンテナハウスやトイレ等が設置されて、登山者の休憩場所等として提供されました。来年度以降も新しい施設が建てられるまでは同様の状況で登山者をお迎えすることになるようです。

富士宮口は、静岡県側では最も多くの登山者が利用する登山口ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症や天候不順の影響により、登山者数が大幅に減少しました。

今夏の開山にあたり静岡県と山梨県が「Withコロナ時代の新しい富士登

山マナー」を作成・公表しています。以前と比べて登山するにも色々と配慮が必要になりますが、今年度の冬季閉鎖まで、また、来年以降も富士山を訪れる皆様におかれましては、安全な登山にご協力をお願いします。



山頂に向かう登山者